

観光事業と道の駅に提言 花の名所づくりと特産品開発を



遠藤和雄 議員

年間57万人の入浴客を迎える池田温泉。素晴らしい立地条件の中での道の駅建設、更に付加価値をつけるために、周辺遊休地等にイベントの出来る観光開発の必要がある。又道の駅周辺の植栽も、将来管理費のかからない花の楽しめる樹種を厳選し、特徴ある名所作りが必要である。又町の特産品、名物といった物を作り上げていく事が大切である。

町長

観光交流産業を大きな柱として取り上げている。高齢化、団塊の世代の退職等により、観光のニーズも広がっている。自然志向、体験型・健康増進型といったものと相まって運動しながら、養老鉄道も守り、池田温泉、池田の自然を楽しんで

もらう、町の名所づくりをしながら、今までにない道の駅の整備をしたい。特産品関係もお茶、梅だけでなく、新商品の開発が必要。2〜3名の方が試作してみえる。



ナンジャモンジャ
真白な花が樹冠をおおう



ドウダンツツジ

学校図書館の充実を

学校図書館の本が足りないとされているが、地方交付税で措置されている予算が、充分蔵書に反映されているか。

教育長

交付税見込額は、127万5千円、20年度予算額は小・中学校合わせて194万7千円で見込額に対して152%である。池田町の学校図書館図書は標準の147%である。図書の廃棄更新は毎年行っている。今後とも図書の更新には十分配慮していく。



大津谷桜まつり